



## ◆ 金融商品取引法演習 ◆

履修者は、「演習」で金融商品取引法に関するテーマを探し、狭く深く研究をおこなう。講義科目で同法を広く浅く学ぶため、「金融商品取引法研究」の履修をおすすめする。一般に論文執筆の負担自体が重いことに加え、履修者各自が抱える学内外の諸事情が、想定以上に研究の負担となるおそれもあるため、一年生の早い時期から執筆することを推奨する。大学院生には主体的な研究を期待しており、教員が必ずしも全てを教えるとは限らない。論文提出まで、学生は自身の原稿や主張を繰り返し(批判的に)考察し、加筆修正等を重ねることとなる。

小杉 亮一郎

経済学コース